

被服見積仕様書

次に掲げる物件について、2026年8月18日(火) までに見積書を資産活用課へ提出してください。
見積書提出用メールアドレス【chotatu@city.fukuyama.hiroshima.jp】

なお、見積書は番号ごとに分けてください。

見積書は所定の様式で提出をお願いします。

見積金額は契約希望金額から消費税相当額を除いた額を記載してください。見積り合わせの結果については書面又は福山市ホームページにより公表しますので、落札された場合は、公表の日から原則5日以内に発注書を受領(契約締結)してください。

見積書を提出された場合は、福山市契約規則第3条に基づき、請書をもって契約書に代えること、又は第4条に基づき、見積書をもって契約書に代えることに同意していただいたものとします。

なお、契約の履行については、地方自治法施行令、福山市契約規則及び福山市物品調達契約約款の定めるところとします。

※何番の見積書であるかを必ず見積書内に記載してください。 手書き可。 例)⑤ 例)No.5 例)番号:5

番号	要求課	負担行為番号	品名	品質規格その他	納品方法	数量呼称	納品場所	希望納期
1	(消防)総務課	38144	消防吏員短靴(耐滑性)	仕様書のとおり	搬入	83足	(消防)総務課	2026年12月25日

の見積書は、福山地区消防組合用の様式を使用してください。

2026年度(令和8年度)

No. 1 消防吏員短靴(耐滑性)
仕様書

福山地区消防組合消防局

消防吏員短靴(耐滑性)仕様書

この仕様書は、福山地区消防組合消防局(以下「消防局」という。)が発注する消防吏員用短靴(耐滑性)について定める。

1 総則

- (1) 応札者は、応札前に本仕様書を熟知し応札すること。
- (2) 本仕様書の疑義については、消防局課員に質問し、その指示によって施行完成すること。細部については、消防局課員が別に指示することがあるが、本仕様書に記載されていない部分についても当然必要と認められる部分については良心的に施行すること。
なお、詳細については消防局で管理している見本を参照のこと。
- (3) 製品完成の際は、消防局の指示によって検査を受け、手直しの必要がある場合は指定の日時までにこれを完了すること。
なお、消防局課員が製作中に検査を行う場合がある。
- (4) 製品は1足ごとに良質な箱に入れ、サイズ等が容易に確認できるようにすること。
- (5) 本仕様書の解釈について疑問の点は、消防局と十分な協議を行うこと。
- (6) 納入場所・納入方法 消防局総務課・搬入
- (7) 納入期限 2026年(令和8年)12月25日(金)
- (8) 数 量 83足(サイズ別数量は、別表のとおり)

2 製法及び型式

- (1) 製 法
靴の製法は、直接加硫圧着式製法又はインジェクション式製法とし、靴の種類は JIST8101:2020「CI/S/P1/F2/HI 1/H」又は「CI/S/P1/F1/H」又は JIST8103:2024(静電気帯電防止靴)に規定する性能を有する(合格)ものとする。
- (2) 形 式
靴の形式は、スリッポンタイプ短靴とする(図-1)。

3 各部の名称及び主要材料

- (1) 各部の名称は、図-1、表-5による。又、主要材料は以下による。

ア 甲 被

甲被は、厚さが均等で、傷などの欠点がなく、クロムなめし法により製造し、JIS T 8101:2006(安全靴)の革の試験方法によって試験したとき、表-1に適合する牛クロム銀付革を用いる。

表－1

項 目		規 格
銀面割れ	高さ mm	6.0以上
	荷重 N	150以上

イ 表 底

表底は、JIS T 8101:2006 の表底の試験方法によって試験したとき、表－2に適合する合成ゴムを用いる。

表－2

項 目		規 格
引張試験	引張強さ MPa	14以上
	伸び %	300以上
引裂試験	引裂強さ N/mm	35以上
老化試験	引張強さの変化 %	－15～＋15
浸せき試験	体積変化率 %	12以下

ウ 甲縫系

甲縫系は、太さ及びより方が均等で、使用目的に適合した合成繊維系を用いる。

エ 先しん

先しんは、表面をすべて平滑に仕上げ、へり及び角に丸みをつけた強化樹脂製のものを用いる。

オ 中 底

中底は、導電性を有し、柔軟性及び吸湿性のある合成材を用いる。

4 構造及びサイズ

(1) 構 造

靴は、つま先にワイド樹脂先しんを装着、鞋底は高機能樹脂と合成ゴム（共に静電配合）又は発砲合成ゴムと合成ゴム（共に静電配合）の重層構造とする（図－1、2）。

(2) 寸 法

靴のサイズは、JIS S 5037:1998(靴のサイズ)に規定するEEEを準用し、表－3のとおりとする。

表－3

単位 cm

22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	29.0	30.0
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

5 完成品の性能

(1) 耐衝撃性及び耐圧迫性

靴の耐衝撃性及び耐圧迫性は、JIS T 8101:2006 の衝撃試験方法及び圧迫試験方法によって試験したとき、表－4に適合すること。

(2) 表底のはく離抵抗

靴の表底のはく離抵抗は、JIS T 8101:2006 の表底のはく離試験方法によって試験したとき、表－4に適合すること。

(3) かかと部の衝撃エネルギー吸収性

靴のかかと部の衝撃エネルギー吸収性は、JIS T 8101:2006 のかかと部の衝撃エネルギー吸収試験方法によって試験したとき、表－4に適合すること。

(4) 耐滑性

靴の耐滑性は、JIS T 8101:2006 の耐滑試験方法によって試験したとき、表－4に適合すること。

(5) 帯電防止性能

靴の帯電防止性能は、JIS T 8103:2010 の 9.1 によって試験したとき、測定値では15秒値と1分値の両方で、靴1個当たりの電気抵抗(R)が表－4に適合すること。また、JIS T 8103:1983 の第2試験方法によって試験したとき、靴1個当たりの電気抵抗(R)が表－4に適合すること

表－4

項 目	規 格														
耐衝撃性及び耐圧迫性 (試験条件:S種)	<table><tr><th>サイズ(足長)</th><th>すき間(mm)</th></tr><tr><td>23以下</td><td>12.5以上</td></tr><tr><td>23.5～24.5</td><td>13.0以上</td></tr><tr><td>25～25.5</td><td>13.5以上</td></tr><tr><td>26～27</td><td>14.0以上</td></tr><tr><td>27.5～28.5</td><td>14.5以上</td></tr><tr><td>29以上</td><td>15.0以上</td></tr></table>	サイズ(足長)	すき間(mm)	23以下	12.5以上	23.5～24.5	13.0以上	25～25.5	13.5以上	26～27	14.0以上	27.5～28.5	14.5以上	29以上	15.0以上
	サイズ(足長)	すき間(mm)													
	23以下	12.5以上													
	23.5～24.5	13.0以上													
	25～25.5	13.5以上													
	26～27	14.0以上													
	27.5～28.5	14.5以上													
29以上	15.0以上														
※すき間…中底と先しんとのすき間															
表底のはく離抵抗	300N以上														
かかと部の 衝撃エネルギー吸収性	吸収エネルギーが20J以上														
耐滑性	動摩擦係数が0.20以上														
帯電防止性能	JIS T 8103:2010 の 9.1 によって試験したとき、 靴1個当たりの電気抵抗(R)が、 測定温度 23±2℃(環境区分 1 又は 2)において、 1.0×10 ⁵ ≤R≤1.0×10 ⁸ Ω (0.1≤R≤10 MΩ) 測定温度 0+2℃(相対湿度を定めない)において、 1.0×10 ⁵ ≤R≤1.0×10 ⁹ Ω (0.1≤R≤100 MΩ)														
	JIS T 8103-1983 の第2試験方法によって試験したとき、 靴1個当たりの電気抵抗(R)が、 1.0×10 ⁵ <R<1.0×10 ⁸ Ω (0.1<R<100MΩ)														

6 品質及び外観

靴は、仕上げが良好で、形状が均整かつ堅固なもので、傷、斑点、汚れ、その他著しく外観を損なうような欠点がないものとする。

7 包 装

靴は、1足ずつ個装箱に詰める。